

2016.11.05

皆さんこんにちは。会長の新井です。

絶好の総会日和になりましたが、寒暖差が激しく私たちには堪 げえる気候の中、本第19 回総会に県内だけでなく県外からもご参集いただきました。大変ご苦労様です。

また、お忙しいなか常日ごより、ご指導・連携・ご協力をいただいている中央協、NTT 労組神奈川グループ連絡会そしてご来賓の皆様、大変ありがとうございます。異例ではありましたが国会対応の関係もあり、組織内・吉川参議院議員そして牧山参議院議員には既に激励のご挨拶をいただきました。大変ありがとうございました。本日は、総勢約230 名の参加による開催となりました。会場も、手狭な状況ではありますが、最後までのご協力をお願いするところです。

さて、今年の総会で現体制になり1 年が経過しました。役員会の運営体制の充実に努め、現役の皆さんと連携のもと各課題に一定の成果・結果を出すことができたものと思っております。以下2 点について、触れさせていただきます。

まず、最重点課題として取り組んだ、7 月10 日投開票の第24 回参議院選挙です。結果は、参議院における自民党の単独過半数を、さらに衆参両院において、戦後初となる「与 党改憲勢力3 分の2 議席」を許すことになりました。こうした中、比例代表全国区選挙に挑んだ我が組織内『石橋みちひろ』は全国で17 万1486 票を獲得し、みごと当選を果たすことが出来ました。

私たち支部協における取り組みは、「私たち『退職者の会』会員は、今こそ、選挙で行動をおこそう」として、徹底した各種確認活動等、これまでにない取り組みの結果、神奈川県内『石橋みちひろ』得票数の増加など、ささやかながら尽力できたものと確信しているところであり、支部協の取り組みは全国的にも評価されるものと自負しているところです。改めて、会員・ご家族等の皆さまのご理解・ご協力に心から感謝申し上げます。とりわけ、この確認活動をけん引いただいた役員の方々には、厳しい要請を多々申し上げ、ご苦労をいただいております。この間のリーダーシップ、ボランティア精神の発揮に改めてお礼申し上げます。このエネルギーを、次期第48 回衆議院議員選挙、組織内候補「たじま要」衆議院議員（千葉 1 区）の再選に向けた取り組みにつなげていきたいと思っております。

つぎに「熊本地震」について申し上げます。

本年4月に発生した熊本地震について、その状況は、死者50人、関連死75人、退職者の会熊本県支部協でも1人の犠牲者が出てしまいました。改めてご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さんにお見舞い申し上げます。その後の豪雨による2次災害、阿蘇山噴火と厳しい状況が続いており、復興には程遠い状況です。

10/21 発生の鳥取地震では、現職では仏壇が倒れた程度で被災無し。退職者鳥取県支部協約1000人については、11/2 現在も安否確認中ですがおそらく被災はないとの連絡です。

また、東日本大震災から5年7か月が経過しましたが、未だ16万人が避難生活を余儀なくされています。私たち神奈川県支部協も中央協、グループ連絡会の皆さんとともに、震災とその教訓を風化させない取り組みを継続していくことします。

なお、ご協力いただきました熊本地震支援カンパは、NTT 労組全体で1億2千万円、そのうち退職者の会は2900万円、神奈川県支部協からは183名から66万987円を集約させていただきました。皆さんの温かいおこころに感謝いたします。被災された皆さんに、一日も早く平穏な日々が訪れますことをあらためて祈念するものです。

次に、方針に関連して、一点申し上げたいとおもいます。TPPの強行採決、「核兵器禁止条約」に反対、自衛隊駆けつけ警護は…。安倍政治の暴走にますます拍車がかかり、まさにやりたい放題…。連合はどうした、民進党はどうするなどなど、課題山積ですが…。

ここでは「地震は来る」「知っている人は備えている」についてです。これまで各地区交流会でお話ししてきましたが、先日、横浜市の危機管理官から「大地震に備えて」を拝聴し、改めて皆さんに「備えてほしい」との思いで申し上げます。

#### (1) 横浜の地震想定

首都直下地震：南関東のどこかでM6.7以上震度7。国は19のモデル想定し、東京湾北部が最も深刻。

南海トラフ四国・南海底4000m 90-150年の範囲。国は2030～40年に鹿児島から関東千葉までの沿岸で発生する。震度7、死者32万人、津波5mと東日本より1ケタ大きい被害。

活断層 2000以上、しかし鳥取地震わかってない活断層。

三浦半島の武山断層：国は、武山断層30年以内発生確率6-11%、熊本地震は最大16%。1600-1900年間隔で動くが、もう2000年は経っている。明日起きるかもしれない。今後30年以内6弱以上確

率81% (2年前は78%、1位千葉)。

(2) どう対策をとるかは、場面はより異なる。

シミュレーションすること。横浜市のHP(「防災」をウェブの活用を。備品

・トイレパック(非常用トイレ凝固剤50回分3000円)は、マンションだけでなく戸建てでも絶対必要。避難所に行かなくて済むようにすること(自助、家にとどまる)。避難所でトイレを我慢するとエコノミークラス症等の震災関連死など発症。

その他に、靴・スリッパ、充電器・乾電池(ローリングストック(電池、水ガスボンベ。))、常備薬(血压、ニトロ...)

(3) 東日本、熊本、鳥取は現実である。危機意識は高まっているが、何とかなるだろうと「備えていない」。「退職者の会」の組織の使命として、「備えること」を絶えず発信していきたい。

その連絡体制について、議案書の方針で、<会員相互の「つながり」づくりに向け>として、提起いたしました。が、その大前提は、「自分で自分を守る」です。「地震・台風・火事・温暖化」に、確実に「来る」のです。会員お一人おひとりが「備えること」を実践していただくことです。本日家にお帰りになったら直ちに行動をしてください。併せて、離れて暮らす身内、知人の方にも発信していただければより安心です。思い入れを申しあげました、お許しください。とにかく「トイレパック」だけは備えてください。

以上、雑駁に何点か申しあげましたが、後程、事務局長が提案する、「会の発展と会員皆さんの安心・安定をめざすため」の2016年度活動方針案について、満場一致決定いただくことを申し上げ挨拶とさせていただきます。